

### 竹園東中学校 PTA 広報誌

Takezono Higashi Junior High School  
Parent-Teacher Association Newsletter no.116

## PTA 会員へのメッセージ

### 発行に寄せて ～新しい生活様式の時代を生きる～

今年度のPTA活動は、前年度には経験のなかった対応に迫られたものが数多くありました。広報誌の作成もその例外ではなく、編集には大変な御苦労があったものと推察いたします。改めまして、PTA広報委員の皆様の御尽力に感謝申し上げます。

今回の広報誌の配付方法もそうですが、新型コロナウイルス感染症対策のために定着したのものとしては、各種印刷物のネットを通じた配付が挙げられます。従来は生徒の手によって家庭へ届ける方法が主でしたが、今年度から学校だよりの配付についてはネットでの配付を主としているところです。PTAでも、役員会や実行委員会をテレビ会議で行うようになりましたので、それらの資料も全てデジタル化して配られています。

デジタル化された資料の良いところは、保管場所さえきちんとしていれば、いつでも、どこにいても資料を取り出せるということでしょうか。一方で、不用意な個人情報の流出は懸念材料の一つであります。私たち大人も、新しい会議の形態やデジタル資料の取扱方を学びながら、新しい生活様式の時代を生き抜かなければならないと改めて感じているところです。



菊地 智之 校長

### 価値を見出し、最大限の努力を

本校勤務二年目となりました。日頃から学校教育・PTA活動に御尽力いただきありがとうございます。今年度も、学校のグランドデザインにもあるように、『共に学ぶ・共に育つ』をモットーに、様々な面で生徒・保護者の皆様にバックアップしていきたいと思っております。

さて、今年度は昨年度末からの異例の措置で年度が開始し、6月に学校再開となり、今後も感染状況によっては、予定通りいかないことも考えられる状況です。そんな中で生徒は学校に来ることの喜び、学ぶ喜び、友人・先輩・後輩と同じ時間を共有する喜びを感じていることに、学校教育の意義を改めて実感させられています。

こんな状況でも、価値を見出し、最大限の努力を怠らないことの大切さを生徒一人一人が実感し、大きく成長していくことを願って、尽力していきたいと思っております。今後も保護者の皆様には、学校教育活動への御協力・御支援の程、よろしくお願いたします。



内藤 雅巳 教頭

### 歩（あゆむ）～共に輝く明日のために～

2020年度は、入学式や始業式が開催されず、翌日4月から休校になるなど、これまでに経験したことのない中でスタートすることとなりました。最初の数か月は、外出自粛が要請され、学校再開の時期が明確に示されないまま、生徒や保護者におかれましては、心配な日々を過ごしてきたことと思っております。

学校は再開しましたが、夏休み前から新型コロナウイルス感染症の第2波が始まり、PTA活動を進めるにあたり、総会は書面に切り替え、役員会や実行委員会は面会方式ではなく、オンラインミーティングに変更するなど、大幅に進め方を変更し、できるだけ接触する機会を減らす試みを進めています。

今年度のPTAスローガンは、昨年度に引き続き、「歩（あゆむ）～共に輝く明日のために～」にすることとしました。

こういう時こそ、学校、地域、家族という社会を単位とした人のつながりが重要になってきます。各々問題となっている身近な事柄などについて、保護者の意見をPTAに届けていただきたいと思います。

現在、様々な制限のある中で、生徒たちがともに輝く明日のために歩み始めることができるよう、取り組んでいきたいと考えていますので、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



細田 浩司 PTA 会長

# 先生・学級目標紹介

先生と各学級の『学級目標』、『目標に込めた学級の思い』をご紹介します。  
先生が綴ってくださった思いから、クラスの雰囲気を感じ取っててください！

教務主任	池邊 則夫
<b>7 学年</b>	学年主任 佐藤 彩子 (国語)
1組	長谷川 竜輔 (社会) 「伸展」 1組一人一人の豊かな個性をどんどんと伸ばし、それが学校全体に影響を与えられるよう、広がり続けられるようなクラスを目指すという意味です。
2組	稗田 優志 (保体) ONE for all ～1人はみんなのために～ 学級の思いとしては、目標通りの「1人はみんなのために」です。クラスは複数人いて成立しています。クラスの構成員が一人一人自覚をもち、クラスでの活動や役割をしっかりと果たす、という思いが込められています。
3組	宮本 大暉 (数学) I M A IMA「今」という学級目標に決まりました。「I」には命に関わることはしない。「M」はメリハリをもつ。「A」には、あたりまえの事をあたりまえにという意見が込められています。楽しく元気な3組にします。
4組	柴田 和喜 (保体) 一致団結 クラスのメンバーが問題事に一致団結して、取り組んで解決できるようにするという思いを込めました。
5組	川俣 真澄 (英語) 団結 今年度はコロナウイルスの影響で行事が無くなってしまったり、制限されたりしてしまっていますが、普段の生活の中でも助け合いながら団結して過ごしていきたいという思いが込められています。
6組	留岡 まどか (数学) Spinel ～努力・発展・向上～ スピネルの石言葉は努力・発展・向上です。わたしたち7年6組は、スピネルの石言葉の通りに全員で努力し、発展、向上できるようにするといいいなと思い、この学級目標にしました。
副担任	栗原 公子 (理科)、江見 智子 [エンゼル2(音楽)]、寺崎 麻衣 [つばさ(保体)]
非常勤	瀧田 睦美 (英語)
<b>8 学年</b>	学年主任 木村 文彦 (技術)
1組	飯塚 佳子 (保体) 創 <i>Creative</i> 担任の「最高のクラスにしよう」という思いを受けて決めました。今を創る。これからを創る。歴史を創る。自分たちで創る。最高のクラスを創る。そんな思いが込められています。
2組	久保田 俊哉 (英語) 全本気(オールガチ) ～助け合い 笑い合い お互いに高めあう8-2～ この目標は、生活、勉強、行事、学校に関するすべてのことを1人も欠けずに本気で臨み、互いに良いクラスにしていこうという思いそして、その中にも楽しさも忘れずにしようという思いが込められています。
3組	土田 悠太 (国語) Fun ～楽しいは正義～ ただ「楽しむ」だけでなく、「全員が一丸となって、楽しむべき時に全力で楽しむ」ことをモットーとしています。クラスに笑顔が溢れるように全力を尽くします！！
4組	竹町 慧 (理科) メロンパン メロンパンの模様のように、1つ1つ、1人1人の個性を主張しつつ、クラス一体となる。また、外カリ中ふわの食感のように、真面目なときと楽しむときのメリハリを大事にできるクラスにしていきたいと思います。

5組	古江 弘貴 (数学)	メリハリ、チャレンジ、笑顔、思いやり、元気 メリハリ、チャレンジ、笑顔、思いやり、元気の5つの項目をクラス全員で最大限まで高めていき、年度の終わりには、クラスが最高のステータスになれるようにという思いが込められています。	メリハリ 元気 8-5 思いやり 笑顔 チャレンジ
6組	海老原 彩香 (音楽)	「わっしょい」みんなで一つになって力を合わせる 「わっしょい」は掛け声に使われる言葉ですが、皆で一つになって力を合わせる「和一処」が語源とされています。行事だけでなく普段の学校生活の中で、声を掛け合い、成長できるよう力を合わせていきます。	
7組	三川 徹 (社会)	竹 ～信念をつらぬく～ 自分たちで決めた信念(何事にも全力、メリハリをもって生活する、一番を目指す)を竹のように最後までつらぬき通すという思いを込めました。	
	副担任	関口 裕子 [青空(国語)]、柳橋 浩利(社会)、田野 卓美(理科)	
	非常勤	倉田 沙紀(音楽)	

9学年		学年主任 横山 英子(英語)	
1組	小神野 真人 (数学)	オガミノ平和条約 一、席替えは月一 一、レクは週一 一、あいさつは毎日 全員が平和(心穏やかに)に過ごすために必要なことをまとめました。挨拶を毎日欠かさずに行い徐々に親しくなり、レクを通して仲を深め、席替えでより親密になり、みんなが平和になれるようにと思いを込めました。	
2組	谷沢 美佳 (英語)	Japanese Green Tea ～選ばれたのは9-2でした～ 緑茶は、世界中で広がりを見せ、人々から愛されています。そのように誰からも愛されるクラスを目指すという意味が込められています。また、最後に9-2が一番良かったと誇れるクラスにするという意味でもあります。	
3組	橋本 尚樹 (国語)	ミツ ～密にならずハチミツのような濃密な一年を～ 休校期間もあり、皆で過ごす時間は短くなってしまいました。しかし、短い時間の中でも感染症対策を行いながら充実した濃い一年間にしていきたいという思いが込められています。	
4組	細谷 美奈子 (家庭)	おにぎり『いろいろなおかずが集まるお弁当箱』 「おかず」は個性を、「お弁当箱」は教室を表しています。一人一人の個性を大切に、お弁当のようにバランスよく一つになるという思いが込められています。おにぎりは、一人一人がまとまって一つになるという意味です。	
5組	栗原 令子 (社会)	バウムクーヘン いちご味 ～個性を重ねて 新しい味を～ クラスのみんなをバウムクーヘンの生地と見立てました。個性がいっばいつまったその生地を重ねて、9年5組にしかない新しいバウムクーヘンを作ろうという意味を込めました。いちご味は5組のカラーである桃色です♡	
	副担任	櫻井 典子 [エンゼル1(英語)]、志村 克己(理科)、中原 昌子(美術)	
	非常勤	成島 啓太(保体)	

学年外			
初任者指導	田崎 正孝、六笠 芳江	養護教諭	茂木 真由美
事務係長	倉持 悦子	事務主事	山口 和美
栄養職員	鈴木 くるみ	学校管理員	山本 典子
配膳員	久保田 静子		
スクールカウンセラー、学校生活サポーター、特別支援教育支援員、図書館協力員			



# PTA 委員会活動紹介

PTA は本部と専門委員会から成り立っています。  
各委員会の活動内容をご紹介します。

## PTA 本部

PTA 本部役員は、会長、副会長3名（内1名は職員）、庶務3名（内1名は職員）、会計3名（内1名は職員）の合計10名で、他に会計監査2名と顧問1名（校長先生）で運営しています。会長は、PTA を代表し会務の統括や会議の招集、対外的活動を行います。副会長は、会長の補佐ならびに役員会や実行委員会の運営を行います。

庶務は、各会議での議事の記録や PTA だよりの作成、各種文書の配付等を行います。会計は、予算に沿って収支の記録、出納を行い、決算報告を行います。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により活動が制限されていますが、役員会・実行委員会等オンライン会議の設営や資源回収ボランティア、消毒作業ボランティア等の活動をサポートしています。

また、例年、翌年度の本部役員募集を行っていますが、今後は、WEB を通じて役員などに応募できるように取り組んでいます。

## 9 学年委員会

9 学年委員会は、今年度は7名で活動しています。その中で委員長、副委員長、会計担当の役割りを分担しています。委員会活動として、例年なら9月の創明祭で模擬店販売がありますが、今年度は残念ながらコロナ禍の影響により中止になりました。残る活動は茶話会（例年2月）ですが、こちらも例年通り開催できるかどうか模索中です。この他、委員長と副委員長は定例の実行委員会、PTA 選出委員会への出席があり、リモートにて粛々と活動中です。様々な学校行事が見合わせていることもあり、保護者同士お互いの顔が見えない状況ですが、お気軽に委員会メンバーへお声がけいただければと思います。

## 8 学年委員会

8 学年委員会は委員長（選出委員会兼務）副委員長、会計、書記、創明祭係から成り立っており10名で活動しています。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、創明祭での出店ができないことや、学年行事についても今後の状況を見て検討するなど例年とは違う事が多々ありますが、私達はメールで連絡を取り合い情報共有をしています。学校で様々な感染症対策をしてくださっている先生方や子供たちのお役に立てるよう、活動していきたいと思っています。

## 7 学年委員会

7 学年委員会は、委員長、副委員長、会計、講演会係、創明祭係（今年度はなし）から成り立っています。正副委員長は年8回の実行委員会（メールやWEB 開催もあり）へ出席します。例年では、創明祭でペットボトル飲料の販売をしたり、スマホ教室などの講演会を企画し開催します。今年度は新型コロナウイルスの影響で開催は未定ですが、子供たちが楽しく学校生活を送れるお手伝いができればと思っています。なお、学年委員会は学校行事がある時に集まり、それ以外はなるべくメールやLINEなどで連絡や意見交換をしています。

## 家庭教育学級委員会

家庭教育学級委員会は各学年から2名を選出した計6名で活動しています。家庭教育とは子供の健全な身体と人格の発達のために家庭でおこなう教育であり、家庭教育学級は保護者が家庭教育について理解を深める学びの場です。

例年は2回以上の講習会や体験型ワークショップを企画・実行してきましたが、**今年は映像配信にて講習**を行い、各御家庭で受講していただくこととなりました。内容はつくば市学びの5つの柱 ①子どもの心身の理解とその発達 ②メディア学習 ③人権学習 ④食育 ⑤伝統文化の伝承 に沿った講習をご紹介します。ぜひご覧いただき、講習での学びを各御家庭での教育にご活用ください。

## ホームページ委員会

学校からの配布物が子供の鞆の底にずっと眠っていて、渡された時にはとくに締切が過ぎてしまっていて大慌て。そんな経験はございませんか？

ホームページ委員会では PTA ホームページを介して、学校配布物の適時掲載を始めとして、PTA 活動の告知や報告、また各種委員会からの活動報告など、皆様のお役に立てる学校関連情報の掲載を行っています。その他にも、メーリングリスト管理を通じて、PTA 会員間の連絡の利便を担っている“縁の下の力持ち”な活動を行っている委員会になります。是非一度、PTA ホームページに訪れてみて下さい。http://takechu-pta.org/

また、今年度は新型コロナウイルス対応のため、**校内消毒作業のボランティア募集についての申込フォーム作成や、スケジュール調整フォームの作成**なども行っています。



http://takechu-pta.org/



## 女性ネットワーク委員会

女性ネットワーク委員会は、子供たちを取り巻く課題を女性の視点で捉え、自分が学んだ情報を保護者の中で口コミで伝え広めることを役割として、各学年2名計6名で活動しています。

主な活動は、年4回実施される「つくば市 PTA 連絡協議会 女性ネットワーク委員会」の研修会と、年各1回ずつ実施される茨城県及び県南の「PTA 連絡協議会 女性ネットワーク委員会」の研修会に参加し、そこで得た情報を保護者のみなさんへ伝えることです。つくば市は地区によって生徒数や教育環境などが様々で、地域差が大きいいため、他地区の委員の方と交流することによって新たな気づきがあります。

今年度は新型コロナウイルスの影響でまだ研修会が開催されていません。秋冬に参加できることになったら、PTA ホームページで発信します。ぜひご覧ください！

## 保健校外委員会

保健校外委員会は、子どもたちの安心・安全な生活を守るために活動しています。

例年であればマナーアップキャンペーンや学校保健委員会への参加、竹園学園の3校（東中・東小・西小）で開催する安全協議会を通して地域の危険個所マップを作成し、注意喚起・情報共有に努めてまいりました。本年は、新型コロナウイルスの影響により例年通りの活動は行えておりませんが、9月より実施されている**校内の消毒ボランティア**を通じて少しでも子どもたちの安心・安全な生活環境の整備に協力してまいります。消毒ボランティアは現時点で終わりの見えない新型コロナウイルスとの闘いです。長期に及ぶ可能性もあり多くの労力を必要とします。一人でも多くの皆様にご理解・ご協力いただけますことをお願い申し上げます。

## 広報委員会

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、対面でのコミュニケーションが制限される中、取材方法の見直しや発行回数を減らし、先生方や委員さんが頑張っている姿を報じられるよう誌面の内容を工夫しました。

また、「**広報竹園**」を **PTA ホームページの WEB 公開のみ**とすることにいたしました。

ボランティアグループの「ICT 冨たすけ」を利用したり、コロナ禍でも一人ひとりができる範囲で協力して活動できるよう10名で活動中です。



詳しくはPTAサイト  
ボランティアページへ



2020年9月より、校内消毒作業ボランティア活動を開始しています。

## 校内消毒作業ボランティア

教室や体育館、武道場の消毒作業をします。  
作業に参加していただける保護者を募集しています。  
詳細は「校内消毒作業ボランティア」ページをご覧ください。  
問合せメールアドレス： [info@takechu-pta.org](mailto:info@takechu-pta.org)

新型コロナウイルス感染防止の観点から、2020年4月以降、以下のボランティア活動を自粛しています。  
(再開時期未定)

### 図書ボランティア

図書室の整備や新刊本の受け入れ作業、その他図書に関わる仕事。  
図書ボランティアは随時募集中です。毎週水曜日 10:30 から図書室で活動しています。(現在自粛中)  
問合せ： [tosho@takechu-pta.org](mailto:tosho@takechu-pta.org)

### 標準服リサイクルボランティア

リサイクル標準服の整理、リサイクル展示日時 of 広報、展示日の対応。 問合せ： [fuku@takechu-pta.org](mailto:fuku@takechu-pta.org)

### ICT ラタすけ

現代のPTA(保護者と先生)活動に欠かせないICTを使うための相談やサポート。  
※ 校内に立ち入らない活動は実施中。 問合せ： [takezono.ict.otasuke@gmail.com](mailto:takezono.ict.otasuke@gmail.com)

2020年9月現在、  
以下のボランティアグループは活動休止中です。

字幕ボランティア

運動部支援ボランティア

たけのご相談室

朝読書支援ボランティア

ボランティア活動企画募集も現在停止中です。

#### 【編集後記】

皆様からのご協力をいただき、第116号の広報誌を無事に発行することができました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々なイベントが中止となり、広報誌は縮小しての作成となりましたが、先生・学級目標紹介は、学校・保護者・地域のかかわりが少なかったからこそ先生と子供の想いを知ってもらいたいという発想から生まれました。本誌を通じて、竹園東中学校とPTA活動を知っていただく一助となれば幸いです。